

LIXILグループが子会社のLIXILビバの株式を譲渡－財務体質改善の進捗を注視

以下は、株式会社LIXILグループ（証券コード：5938）の連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は、本日、LIXILビバの普通株式に対しアークランドサカモトが実施する公開買付けの成立を条件とし、保有するLIXILビバの全普通株式をLIXILビバに譲渡（11月頃に予定）すると公表した。本件譲渡によりLIXILビバは当社の連結子会社から外れる。また、当社は子会社株式売却益として約200億円の計上を見込んでいる。
- (2) 当社は、生産性と効率性の向上を図るため基幹事業への専念と事業間シナジーの推進、将来成長と財務体質の強化を図るための事業ポートフォリオの最適化などを進めてきた。本件はさらなるシナジーの創出および効率化を目指す当社の取り組みに合致するものとして評価できるとともに、財務体質の改善も期待できる。ただ、新型コロナウイルスの影響で業績の先行き不透明感が強い中、当社の20/3期末の自己資本比率は24%と財務体質改善の余地は大きい。JCRは引き続きキャッシュフロー創出力向上と財務体質改善の進捗を注視していく。

（担当）加藤 直樹・井上 肇

【参考】

発行体：株式会社LIXILグループ

長期発行体格付：A+

見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル